



学校教育目標 「気づき、考え、実行する子どもの育成」  
「進んで学ぶ」 「自分も友達も大切にする」 「元気いっぱい何事にもチャレンジ」

## ○ 佐野祭で JRC の誓いと佐野先生をたたえる歌の披露

12月7日(木)は、佐野祭が行われました。今年は、11月16日に、佐野常民生誕200年記念として、九州八県赤十字大会が佐賀県で行われた年でもあり、記念すべき年でした。また、世界において戦争や災害が近年勃発し、赤十字の力があらゆるところで必要とされているときでもあります。このような中、中川副小学校区において、佐野常民先生の功績を称えた佐野祭が、開催されたことはとても意味あるものだと感慨深かったです。

本校からは毎年、3年生と4年生が参加しています。JRC(青少年赤十字)の誓いを唱和した後に、佐野先生を称える歌を合唱しました。佐野先生を称える歌は、昭和8年に、真島豹吉先生が作詞作曲されました。当時の歌詞で、今の子どもたちにとっては聞きなれない言葉があり、難しかったのですが、各学年一生懸命練習をしてこの日を迎えました。学校を出発するときから、大きな声で歌い、元気いっぱいの3・4年生でしたので、きっとばっちりやってくれると思いました。佐野先生の碑の前でも堂々と、JRCの誓いの言葉を述べ、大きな歌声を披露しました。ああ、誇らしいなあという思いが心の中に沸き上がりました。やるときはやる、子どもが育ったなあと安心しました。



## ○ 全校ドロケイ大会…盛り上がった！…

運営委員会の企画で、全校児童と職員でドロケイ大会を実施しました。ゲームについての説明から始まり、前半15分、後半15分、間に休憩を挟んでの実施でした。なんと職員がオニ、子どもの体力についていけるのか?と思いながらスタートしました。会場には、トラの着ぐるみも登場しました。若い先生方は、子どもを追いかける、追いかける。そして、捕まえる。すごかった。校長は、やはり体力が続かず、子どもたちを追いかけては休憩、休憩、追いかけては休憩、休憩でした。子どもは、捕まってもすぐに誰かが助けに来て復活しました。中央につくられた円の中には、誰もいない時間が続きました。一人一人の顔を見ると、逃げながらも笑顔いっぱい、かなり盛り上がりました。全校ではしゃいだ時間になりました。企画・準備をしてくれた運営委員会の皆さんに感謝です。ありがとう！！

子どもが主体的に活動を考え、実施できることはとても素晴らしいことです。「気づき・考え・実行する」中川副小には必要なことで、どんどんチャレンジしてほしいと思っています。次は、どの委員会、だれが、どんな企画を考え、実行するか楽しみです。



## ○ 朝のスピーチタイム紹介

12月8日の佐賀新聞に掲載されたように、毎週火曜日の朝は、スピーチタイムに取り組んでいます。特に高学年は、新聞記事を中心に自分が興味を持った内容を取り上げ、自分の考えや思いを発表するとともに、聞き手側から感想や意見を求めることに取り組んでいます。目的は、子どもたちの「話す力」や「聞く力」そして「対話力」を育てることにあります。そこで、5年生と2年生のスピーチタイムも全職員で参観しました。2学期も終わるこの時期になると、話し手は自分の思いを堂々と伝え、聞き手も感想や質問をさっとできるようになりました。また、質問に対する返答もスムーズで、今年度取り組んだ成果を感じているところです。私たち教員は、自分の学級だけでなく、他の学級の様子を見ることで自分の指導を振り返り、学びにつなげています。3学期も、学校全体で成長できるよう頑張ります。



(2年生のスピーチタイムの様子)

## ○ 出前授業に みんなわくわく・ドキドキ

様々な体験を通して多角的に学んで欲しいと考え実施しています。

### ① 「くらりか」の皆さんによる理科の出前授業

東京工業大学同窓会の皆さんで結成された「蔵前理科教室ふしぎ不思議(くらりか)」を知りました。そこで、今年度は、5・6年生を対象に実験教室を開いていただきました。講師の先生は、佐賀の方だけでなく、東京からはるばる佐賀に来られた方もいらっしゃいました。「2mmのガラス玉でカード型の顕微鏡」をつくり、草花や昆虫等を観察しました。これを使うと150倍に拡大して見ることができるといってのことでした。一生懸命に作り、実際に、玉ねぎの細胞などを観察したときは、「見えた!!」と大興奮でした。11月22日に行ったので、今でも手元に持っているかなあ。



くらりかさん曰く、これを持っていると、気になったものを見つけ時にすぐに見ることができ、身近にある様々な植物や物に興味を持つことができる、そうやってほしいという思いでこれを開発されたそうです。素敵ですね。子どもたちの興味を学びにつなげてくれるプレゼントでした。

### ② 佐賀県建設業協会青年部の皆さんによる「はたらく車」の出前授業

この日は、とても寒い日で小さな雨がポツポツとふっていたので、大丈夫かなと思っていましたが、子どもたちは、早めに外に出て並んで待っており、やる気満々でした。1~4年生の子どもが、はたらく車についての説明を聞いた後、試乗体験をしました。ミニバックホウのアームを操作して空缶をつぶしたり、ロードローラーの運転席に試乗したり、高所作業車に乗ったり、10+ダンプに乗って歩行者がどう見えるのかを体験したりしました。日頃は工事現場で作業をされているのを見るだけだったのが、こんな近くで見られて、操作までできるなんて..ワクワクな時間になったようでした。また、10+ダンプからは、近くを歩く歩行者が見えづらいことも体験から学んだようです。将来は、建築の道に進む人が出てくるかな？



ホームページ  
はこちらから  
どうぞ!

